

神戸大学ヨット部 News Letter



目次

- ・ 関西女子イン結果報告
- ・ 関西女子インの所感
- ・ 実業団結果報告
- ・ 実業団の所感
- ・ レース月間を経て

はじめに

お世話になっております。2回生・広報補佐の大石です。初秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。今回は、関西学生女子ヨット選手権大会および関西実業団ヨット選手権大会の成績をご報告申し上げます。また、関西学生女子ヨット選手権大会におきまして、470級では、近藤・池田ペアが全日本学生女子ヨット選手権大会への出場権を獲得いたしました。関西代表のうちの1組として、全国の舞台でも全力を尽くしてまいります。ぜひ、全日本女子インでの活躍にご期待いただけますと幸いです。

関西女子イン結果報告

神戸大学からは、470級で近藤・池田ペアが出場しました。

470級(全6艇)7R実施

4位 近藤②・池田②(23点)

詳しい成績は、こちらのサイトからご確認ください。→ [関西女子イン国際470級](#)

近藤・池田ペアが

9月20日（土）～9月23日（火）に神奈川県三浦郡葉山町葉山港沖

で開催される 全日本学生女子ヨット選手権大会への出場権を獲得いたしました。引き続き、皆様の温かいご声援・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

関西女子インの所感

2回生/470クルー池田春菜



お世話になっております。

2回生470クルーの池田春菜です。

レース月間の最後を締めくくる関西女子インカレは、例にもれず強風かつ高波という、自分たちが最も苦手とするコンディションでの開催となりました。出場は470級4艇。その中で全レース最下位という結果でしたが、毎レースごとに2人で帆走・コースについて反省を重ね、常にコミュニケーションを取りながら走ることができました。

またコーチや先輩方からアドバイスを頂いたこともあり順位は変わらなかったものの、初日から2日目にかけて確実に差を縮められたと感じています。

特に、今回のレースでは初めて全レースでDNFやRETなどの英語が付かず、全て完走できたことが大きな収穫であり非常に嬉しかったです。それでも上位3艇との差は大きく、体格がほぼ同じ女子選手が強風でもスピンを上げて走っている姿を見て、「自分たちも練習を積みれば必ずできる」と強く思いました。

全日本女子インカレへの出場権を得ることができたので、この夏練では自分たちに合ったチューニングを探りながら練習を重ね、苦手な強風を克服し、全日本の舞台で少しでも多くの技術を吸収したいと思います。

関西女子インの所感

2回生/470スキッパー近藤優芽



お世話になっております。

2回生470スキッパーの近藤優芽です。

今回のレースは2日間とも苦手な強風のコンディションで、他の3艇との大きな実力差を感じる悔しいレースとなりました。特にクローズでスピードはあっても角度が取れず下りすぎのまま走ってしまう時間が長かった点が最大の課題だと感じました。しかし、その中でも最後まで諦めずに走り切り、全レースフィニッシュ出来たことは自分達の成長を感じられ、自信につながりました。

全日本女子インに出場させてもらうからには、ただ楽しかったで終わるのではなく、ひとつでも多くのことを学んで帰ってきたいと思います。そのために、夏練を通して苦手な強風を少しでも乗り越えさせるようにすることと、風に合わせて走る力をつけることを目標に練習していきたいと思います。

今後も応援よろしくお願い致します。

女子インの所感

1回生/マネージャー長尾姫華



お世話になっております。1回生マネージャーの長尾姫華です。
 このたびの女子インカレでは、支援艇に同乗させていただきました。
 入部して初めて大会の支援艇に乗り、先輩方やOGの方から、レースコースの説明や風向の確認方法、旗の意味などを教えていただきました。多くの業務を同時に進めながら、常に周囲の状況を把握し、的確に対応される先輩方の姿はとてまかつよく、私もそのような成長したいと強く感じました。また、お忙しい中にもかかわらず、丁寧に多くのことを教えていただき、支援艇での仕事の奥深さや責任の大きさを実感しました。まだまだ未熟ではありますが、今回学んだことを繰り返し復習し、知識と経験を積み重ねていきたいと思います。次の大会で再び支援艇に乗る機会があれば、見て学ぶだけでなく、自ら主体的に動き、少しでもチームに貢献できるようがんばります。

関西実業団ヨット選手権大会結果報告

470級（全18艇）5R実施

6位 市川④（30点）

8位 続 ③（19点）

14位 酒井③（73点）

19位 近藤②（89点）

スナイプ級（全24艇）5R実施

8位 大島③（48点）

10位 寺岡④（57点）

19位 浅井③（101点）

20位 出光②（104点）

今大会では、今年入部した1回生が初めてレースに臨みました。

詳しい成績は、こちらのサイトからご確認ください。→ [関西実業団ヨット選手権](#)



実業団の所感

1回生/470プレイヤー 豊岡倅弥



お世話になっております。

1回生470クルーの豊岡倅弥です。

実業団はスナイプクルーとして出させていただきました。

初めてのレースで、初めて数時間を通して乗りました。1レースしかしませんでした。手やハイクアウトで使う足の筋肉が非常に疲れ、これを1日4.5レースする先輩方の凄さに心から感心しました。タックやジャイブ、ランチャーを上げるなど今までの練習でしてきたことは比較的スムーズにできました。もちろんまだ課題はありますが、自分なりにはある程度力を出せたのではないかと感じています。

一緒に乗ってくださった先輩とも成長のための会話だったり、ちょっとした雑談だったり、たくさんコミュニケーションを取ることができ、とても有意義な時間となりました。

しかし、できていなかったこと、知らなかったことも山のようにあり、成長を続けていくためにはそれらを思い出し、毎日反省をし、次の練習で改善することが欠かせないと強く感じました。

これから先、3.4年生になっても地道に努力できる人でありたいと思います。

実業団の所感

1回生/スナイププレイヤー 中井結子



お世話になっております。1回生スナイプクルーの中井結子です。

自分は1日目の1レースにクルーとして参加させていただきました。レースを通して思ったのは、動作を早く固めたいということです。未熟ではありますが、動作で大きなミスをしなかったのは、丘練やアビーム練習で取り組んできた成果が出て良かったです。しかし、動作など自分事で手一杯で、他艇の様子や風をみるのに余裕がなかったのが、反省点でした。動作にもう少し余裕があれば、さらに多くのことを吸収できたのではないかと思います。悔しいです。

一年の早い時期にレースに出る貴重な機会をくださり有難いです。今回学んだことを練習に落とし込んで、夏練では当たり前に行えることを増やしていきたいです。

実業団の所感

1回生/470プレイヤー大地遥斗



お世話になっております。

1回生470クルーの大地遥斗です。

今年は1年生の人数が多く2日間で半分ずつに分かれて出場しました。

1日目の午前は風が弱く不安定な状態だったためレースは行われませんでしたでしたが、午後からは南からの強風で、初めて経験した慣れない状況でアジャスターの調節やジブを適切に引くことができませんでした。スキッパーの先輩のタイミングと合わせることができず減速してしまう場面も多々ありました。レース慣れをしていないこともあり、一つ一つの動作で焦ってしまい普段通りに行えなかったのがとても悔しく、初めてのレースで自分のことで手一杯でしたがレースを楽しむことができました。

まだまだわからないことがたくさんあり、動作も遅く雑になっているので、この夏練でたくさん質問・練習して少しでも早く一人前のセーラーになれるように精一杯いろいろなことに挑戦しようと思います。

そのためにも琵琶湖で練習の機会をいただいているので、基礎からしっかりと学び戦力になれるよう全力で取り組みたいと思います。

レース月間を経て

2回生/マネージャー大石陽花

レースが続いたこの期間は、マネージャーの私にとっても非常に濃く充実した時間となりました。体力的に大変な場面もありましたが、その分だけ学ぶことや気づくことも多く、マネージャーとしての責任と役割をより深く実感する機会となりました。日々の練習運営や大会前の準備が、選手が安心してレースに臨むためにどれほど重要かを改めて感じています。

そして何より、選手が水上で力を発揮し活躍する姿を間近で見られることが、とても嬉しく誇らしい経験でした。特に個人戦では支援艇に乗り、プレイヤーが上位でマーク回航、そしてフィニッシュする姿を目にし、マネージャーとして支える喜びを強く感じました。努力してきた時間が結果に結びつく瞬間に立ち会えることは、何ものにも代えがたい大きなやりがいです。

このレース月間を通して、チーム全体の結束もさらに強まったように思います。互いに声をかけ合い、励まし合いながら取り組む姿勢は、マネージャーとしても大きな刺激となりました。今後もこの経験を糧に、選手が最高のパフォーマンスを発揮できるよう、環境づくりとサポートに一層努めてまいります。

2025年9月

神戸大学ヨット部 News Letter

